

# 2月議会報告―代表質問―

2月議会は2月20日から始まりました。20日から27日までは2022年度の最終補正予算について、27日から3月16日までは2023年度の予算について審議が行われます。  
今回私は、日本共産党議員団を代表しての質問に立ちました。

## 新型コロナウイルス対策について

1月にピークを迎えた8波を余儀なくされる状況は第6波以降も医療もひっ迫しました。高齢者の死亡者が多く、保健所も医療もひっ迫しました。高齢者施設で働く医療従事者が医療に繋がられず、自宅療養から「施設内で感染しても医療



少しづつ寒さが緩み、冬も長くなりました。季節は春に向かっています。春は卒業式など別れの季節で

すが、同時に新しいステージへ進む新たな出会いの時でもあります。学びたいと思っている若い世代のみなさんが経済的負担を理由にあきらめることがないように、学費を軽減する、あるいは給付制の奨学金が当たり前という環境を作っていくことが求められます。

に繋がられず、施設内に留め置くよう保健所から言われた。医療用のマスクや防護服、検査キットが不足し、スタッフも感染の不安と隣り合わせだった」との訴えを聞いたことから、施設宛てにアンケートを送付し実情を聞きました。返送されてきた回答には同様の訴えがびっしり書かれていました。私は市長に現場の声に必要必要な対策を取ることを求めました。市長は「第8波の感染拡大により勤務者が確保できず、介護の継続が困難になる状況について把握している」とした上で、感染拡大し

## 人事行政について

3年にわたるコロナ禍の下、医療体制、保健所体制がひっ迫し、疫学調査や医療機関との調整も困難となりました。  
さらに年末から1月にかけて救急搬送困難事案が和歌山市でも発生しています。生活保  
た施設には抗原検査キットの緊急配布やマスク等衛生用品の支給、サービス継続のための補助金制度の案内などの対応を行った。現場からの声に対し適切な情報提供を行い不安感を取り除くよう支援を継続する」と答えました。



2月議会で代表質問を行う森下さち子市議

(1面の続き)

護のケースワーカー配置もコロナ禍で仕事を失う人も多かった中、困っている実態に見合った相談業務が求められました。法定数を下回ったままになっ

生すればたちまち体制が追い付かないなどギリギリの体制ではなく、必要な人事体制を構築するべきだと求めました。市長はコロナの事態が長期化する中で職員の時間外労働が増え過重労働となった。

## 国の安全保障政策に関わる

### 地方自治体への影響について

うとしましたが、専門家の登用をはじめ、抜本的な体制強化が必要です。私はひとたび感染症が

私は岸田政権の進める攻撃的兵器の保有などは憲法9条に違反しており、専守防衛というこれまで

## 森下さち子事務所を開設

3月5日、森下さち子事務所開きが行われました。今回の和歌山市会議員選挙にむけての事務所は日常、生活相談所として使っている場所を使用することになりました。

和歌山市井辺144-77  
電話(476)5002



の方針との整合性がないこと、また、物価高騰の下で防衛費に多額の予算をつぎ込み、さらなる増税も予定されていることは、市民の暮らしを顧みないものであることを述べた上で、暮らし、社会保障予算へ振り向け、地方自治体を支援するよう国へ働きかけを、と求めました。市長は「安全保障政策については国の責務であり、憲法9条や専守防衛との整合性については国の責任で議論されるものと考えます。また、

無料

# 法律相談

井辺・森下さち子事務所にて

3月16日(木) 18:00~

3月31日(金) 13:30~

4月12日(水) 18:00~

4月25日(火) 13:30~

◆事前予約をお願いします。

市役所議員団控室  
森下さち子まで

☎ 435-1113



### 和歌山県議会議員選挙

3月31日告示

4月9日投票



松坂みち子県政策委員長

### 和歌山市議会議員選挙

4月16日告示

4月23日投票



森下さち子和歌山市議